



建設通信

2015年4月号
Vol.52



クイックス株式会社

http://www.quix.co.jp

東京都渋谷区宇田川町2番1号
03-5456-1511 (TEL)
03-5456-1811 (FAX)

発行
者

最近では、小型無人航空機にデジタルカメラを搭載し、かなりの低空写真撮影ができるようになりました。精度も比較的高いため、利活用の機会は一層の広がりを見せています。無人機の登場で、今後は経費や作業量の大幅な削減が可能となっていきます。発行責任者 牧坂 勝

期待されるWindows10！！

最近多くのお問い合わせを頂く「Window 10」。現段階において明らかにされているポイントを少しご紹介致します。

Windows 10は発売後1年間無償アップデート！
(Windows 7・8.1及びWindows Phone 8.1対象)
「スタートメニュー」復活！

Internet Explorerに代わる新しいWebブラウザ搭載
Windowsの4分割機能

「Windows」=パソコンのOS(基本ソフト)という位置づけから、Windows10はスマホでもタブレットでもPCでも動くOSへと変化します。これにより対応する全ての端末間で、情報やアプリケーションソフトの共有が可能になります。オフィスでも、自宅や外出先でも、どこでも「Windows」になる日が来るのでしょうか？

調査測量・施工における3DCADの普及について

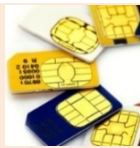
平面的な2Dよりも、3Dで立体的に見える方が計画や設計の安全性の検討がより詳細に精度の高いものとなるため、測量調査や施工においても3DCADの普及が進んでいます。3DCADは、測量データ(SIMA)や数値標高モデル(基盤地図情報)からメッシュ地形を生成したり、設計データのLandXMLデータを取り込んで立体的に画を見ることができます。また、SketchUPやXVL、3D-DWG/DXFといったデータ形式でファイル出力することで、3Dモデルの閲覧や共有も可能となります。立体的に見えるということは、安全教育や施工手順説明の際の可視化、プレゼンにおいても効果を発揮すると言えます。他社との差別化を図るためにぜひ、3DCADへの対応をお勧めします。

プロジェクターで図面や写真を大画面表示

持ち運びに便利な超小型プロジェクターが続々発売されています。HDMI、VGA、Wi-Fiなど様々な接続方法があるので、PCやAV機器はもちろん、スマートフォンやタブレットも簡単に接続できます。スマホ、USBメモリを接続して壁などに投影すれば、大きなPCを持ち歩かなくても作成した図面や撮影した写真を手軽に大画面で表示できます。プレゼンや打ち合わせに活用されてはいかがでしょうか。



SIMフリー化始まる



総務省の発表によると、2015年5月以降発売のスマートフォン全機種を対象に、利用者から申し出があれば端末のSIMロック解除をすることが義務付けられます。これにより他の通信会社に変えても同じスマートフォンをそのまま使用し、ネットや通話が可能になります。また、海外でもその国の通信会社のSIMカードを利用できるので、現地の安い料金で自分のスマートフォンを使えるようになります。このようにSIMフリーは便利ですが、注意点もあります。まず、他社のSIMカードに変えると通信会社独自の機能やサービス(テザリングやドコモメールなど)が利用できなくなります。また、端末とSIMカードの通信方式や周波数が異なる場合、SIMカード自体を利用できないということもあります。こうした点を踏まえて賢く選択すれば、便利なサービスになると言えそうです。一部の通信会社を比較

サービス名	事業者名	月額	通信容量	通話
OCN モバイル ONE 70MB/日 コース	NTT	900円	70MB/日	×
mimeo デュアルタイプ 1GB	ケイ・オプティコム	1590円	1GB/月	○
U-mobile 通話プラス LTE 使い放題	U-NEXT	2980円	無制限	○

3Dデータの活用～維持管理業務～

これまでの構造物の維持管理は、目視点検やハンマーによる打音調査、写真撮影という地道な作業が中心でした。しかし、3Dデータの活用により、構造物の異常箇所をいち早く発見して細かい凹凸やひび割れをデータから判別できるようになりました。計測結果は、以前の測定結果と比較することで各部分の変位を求めるのに役立ちます。維持管理に対する投資の意思決定を、財務的な数字だけでなく現場の状況も考慮して行うことで、より現実的な判断をすることができるようになります。現在、計測には3D点検車やUAV(無人飛行体)、点検ロボットも活用されています。維持管理業務の効率化と高品質化に役立つこうしたシステムはこれからもっと進化しそうです。



地積枠の太さを変えたい！ → 「枠線設定」

BLUETREND XA 2015から、地積図・各階平面図の枠線の太さを枠線ごとに設定し登録できるようになりました。2014までは配置時のペンNo.から変更できませんでしたが、2015からは配置後にも変更が可能です。

メニューバーの設定から用紙設定をクリックします。

枠線設定をクリックします。

変更する枠線を選択し、ペンを変更します。

*全選択をクリック 全部の線を選択できます。

